

発行 車体発 16 第 206 号

2017 年 3 月 17 日

2017 年度（平成 29 年度）トレーラ国内需要見通し

日本自動車車体工業会トレーラ部会では、2017 年度のトレーラ国内需要見通しをまとめたので発表します。

1. 2016 年度のトレーラ需要見込み

2016 年度のトレーラ需要は 7,600 台・前年比 105.6%になるものと見込まれる。堅調な日本経済の成長に加え、2015 年に改正された法改正に対応するトレーラへの補助金、並びに ECE-R13(ブレーキ関係)未対応車の駆込み登録等によりバン、コンテナ用は大きく台数が伸び、バンは前年比 112.7%、コンテナ用は同 108.4%と台数を押し上げた。又、その他のトレーラは前年並であった。

2. 2017 年度のトレーラ需要見通し

2017 年度の日本経済は緩やかな回復基調で推移すると共に、所得環境の改善が続くと見込まれる。又、為替も 2016 年並で推移すると見込まれていることから、2016 年度並の成長が期待される。

トレーラは景気回復に支えられた代替需要、並びにドライバー不足等によるトレーラへの移行等により、引続き高水準の需要が予想される。

こうしたことから、トレーラ総需要は 8,100 台、2016 年度比 106.6%と見込まれる。

・2017 年度トレーラ国内需要見通し (単位：台)

年 度	2015 年度		2016 年度		2017 年度		対前年比	
	(A)実績	(B)見通し	(C)予測	2016 年度 (B/A)	2017 年度 (C/B)			
合 計	7,197	7,600	8,100	105.6%	106.6%			
形 状	コンテナ用	1,937	2,100	2,200	108.4%	104.8%		
	バン	2,130	2,400	2,800	112.7%	116.7%		
	平床・低床	1,931	1,800	1,800	93.2%	100.0%		
	その他特装系	1,199	1,300	1,300	108.4%	100.0%		

(注) 日本自動車車体工業会でいうトレーラとは貨物輸送用をいい、キャンピングトレーラ、ボートトレーラなどは除く